

JA広島北部 REPORT
2018 上半期
ディスクロージャー誌

大切にします 緑と心…

広島北部農業協同組合

J A 広島北部 半期開示情報

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

1 あいさつ

平素 組合員並びに地域の皆様には、J A 広島北部の事業、協同活動に格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

さて今日、農業経営は農業従事者の高齢化、担い手不足、人口減少による需要の減退といった構造的な課題に加え、T P P 1 1 の 1 2 月発効、来年 1 月からの日米間の新たな「物品貿易協定」の交渉開始による主要農畜産物の輸入増大が懸念されています。一方、J A 経営は、総合農協から信用・共済事業の代理店化や分離化、准組合員の事業利用分量規制など農協解体に向けた圧力を受けています。

こうした中で J A 広島北部は、平成 2 8 年度に策定した第 4 次総合 3 カ年計画並びに第 3 次中長期営農振興計画のもと、農業者並びに地域住民と一体となって「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を柱とした「自己改革」に取り組んでいます。

上期の特徴的な取り組みとして、米の需給見通しに不透明感がある中、3 0 年産米から一括精算による「買取り」に移行し農家経営の安定化を図りました。また、肥料銘柄の集約、フレコン満車直行による資材価格の引き下げを実現し、農業生産コストの削減に取り組むなど農業所得の向上に努めました。

一方、地域活性化への取り組みとしては、各支店のふれあい委員会が中心となった「支店ふれあいまつり」の開催や地域行事へ積極的に参加するなど地域に密着した活動に取り組みました。また、J A 女性部は「きらきら女性大学」「さんさん女性大学」を開校し、組織強化や次世代対策に取り組むとともに「クッキングフェスタ」を開催し、地元食材のアピール、食と農の情報発信に努めました。

今後も J A 広島北部は、食・農・協同に関する活動を通じて地域貢献に努め、組合員・地域に信頼される J A を目指してまいりますので、皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申しあげます。

平成30年11月

広島北部農業協同組合
代表理事組合長 小田 良則

2 文化的・社会的貢献に関する事項

J A広島北部では、営農指導や販売事業をはじめ、購買事業、信用事業、共済事業、福祉介護事業、^{きょういく}共育文化活動など、各事業を通じて組合員の皆さまへの奉仕はもとより、地域農業の発展や豊かな地域社会の実現に貢献するため、次のようなさまざまな活動に取り組んでいます。

(1) 農業振興等への貢献

- ①就農塾・農業塾を開催し、定年退職者や新規就農者などこれから本格的に農業に取り組まれる方が、農業の基礎知識や栽培技術を習得されています。
- ②学校教育を通して農業や食への理解を得ることは重要で、小学生や中学生、高校生の職場体験や農作業体験を積極的に受け入れるとともに、地産地消を掲げた学校給食センターへの食材提供と食農教育に取り組んでいます。
- ③将来の地域農業を担う人材育成のため「農業後継者育成支援事業」に取り組んでいます。

(2) 地域社会への貢献

- ①高齢者福祉活動では、居宅介護支援事業所の開設により総合的なサービス提供を行い、福祉介護事業での取り組みはもとより、助けあい組織「さくらの会」の活動や、介護職員の養成研修会を実施し地域福祉への貢献に努めています。
- ②組合員、利用者に安心・信頼できる葬祭事業を目指し、地域の風土や慣習を大切にするとともに、故人を偲ぶ気持ちを大切に、ご遺族への思いやりの心を持ち、真心のこもった葬儀の施行に努めています。

(3) 地域密着型金融への取組み

J A広島北部では、農業と地域社会に貢献するため、地域密着型金融機関として次の取組みを進めています。

①農業者等の経営支援に関する態勢整備

- ・「担い手金融リーダー」を設置し、コンサルタント能力を活用した経営支援に取り組んでいます。
- ・人材育成研修を通じて「J Aバンク農業金融プランナー」資格取得に取り組んでいます。

②農業者等の経営支援に関する取組み

- ・金融円滑化にかかる基本的な方針に沿い、農業者等の経営特性や事業状況を勘案しつつ、経営支援となるよう出来る限り柔軟な対応を他の金融機関と連携して取り組んでいます。

(4) 組合員・利用者との交流

- ① J Aまつりを開催し、多くの組合員との交流を図っています。スポーツイベントでは、ゴルフ大会・グラウンドゴルフ大会・少年野球大会・ゲートボール大会・囲碁将棋大会等を開き、組合員や地域住民等多くの方が参加されます。
- ② 農業への理解を深めていただく重要な取り組みとして消費者交流を開催しています。毎年、田植え交流会を実需者と地元生産者が一体となり実施しています。秋には稲刈り交流を行います。
- ③ 次世代の女性部リーダー育成をめざす女性大学の開講や、各支店に支店ふれあい委員会を設置し、地域性を活かした独自イベントを企画しています。教養講座の開催や地域行事・イベントなどへも積極的に参加し、組合員・地域との結びつきを深める活動を行っています。

(5) 情報の発信

- ① 全地域へ広報誌「ほくほく通信」と「支店だより」を毎月発行しています。地域に密着した情報を提供するとともに、ホームページやテレビ・ラジオを通じて、J Aに関する情報、また「食」や「農」に関する情報などを発信し、農家組織、女性組織の活動等を紹介しています。また、日本農業新聞に積極的に送稿し、農業や暮らしに関する管内の情報を広く地域や管外への発信に努めています。

3 金融再生法開示債権(単体)

(単位：百万円)

債券区分 注1)	平成30年9月末	平成30年3月末	増 減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	179	193	▲ 13
危険債権	85	52	33
要管理債権	-	-	-
正常債権	20,495	24,571	▲ 4,075
合計	20,760	24,817	▲ 4,056

注1) 債権区分

- 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、法的破綻等による経営破綻に陥っている債務者に対する債権であり、信用事業に係る総与信を対象としています。
- 「危険債権」とは、経営破綻の状況にはないが、財政状況の悪化等により元本利息の回収ができない可能性の高い債権であり、信用事業に係る総与信を対象としています。
- 「要管理債権」とは、3ヵ月以上延滞貸出債権および条件緩和貸出債権であり、貸出金のみを対象としています。
- 「正常債権」とは、破産更生債権およびこれらに準ずる債権、危険債権、要管理債権以外の債権であり、信用事業に係る総与信を対象としています。
- 「信用事業に係る総与信」とは、貸出金、貸付有価証券、外国為替、債務保証見返、信用未収利息、信用仮払金をいいます。

4 単体自己資本比率(国内基準適用)

平成30年9月末 (見込)	平成30年3月末
22.44%	23.23%

注) 「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」(平成18年3月28日金融庁・農林水産省告示第2号)の規定に基づいて自己資本比率を算定しています。

5 主要勘定の状況

(単位：百万円)

	平成30年9月末	平成30年3月末	平成29年9月末
貯 金	122,706	123,248	121,490
貸 出 金	20,697	24,750	22,684
預 け 金	99,324	96,863	96,398
有 価 証 券	2,387	2,199	2,204

注) 有価証券については、金融商品会計基準適用後の帳簿価額を記載しております。

6 有価証券時価情報

(単位：百万円)

	平成30年9月末			平成30年3月末		
	貸借対照表計上額	時価又は取得原価又は償却原価	差額	貸借対照表計上額	時価又は取得原価又は償却原価	差額
売 買 目 的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	1,000	1,053	53	1,000	1,062	61
そ の 他	1,386	1,299	86	1,198	1,099	98
合 計	2,387	2,353	139	2,199	2,162	160

注1) 9月末の有価証券の時価は9月末日における市場価格等に基づく時価としています。

7 財務諸表

■貸借対照表

(平成30年9月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
1 信用事業資産		1 信用事業負債	123,132,248
(1) 現金	407,031	(1) 貯金	122,706,868
(2) 預金	99,324,487	(2) 譲渡性貯金	-
(3) 有価証券	2,387,410	(3) 借入金	36,557
(4) 貸出金	20,697,891	(4) その他信用事業負債	388,821
(5) その他信用事業資産	448,404	2 共済事業負債	585,614
(6) 貸倒引当金	▲ 123,839	(1) 共済借入金	6,920
2 共済事業資産	7,814	(2) 共済資金	338,185
(1) 共済貸付金	7,444	(3) その他共済事業負債	240,508
(2) 共済未収利息	234	3 経済事業負債	381,631
(3) その他共済事業資産	138	(1) 経済事業未払金	344,973
(4) 貸倒引当金	▲ 2	(2) 経済受託債務	27,944
3 経済事業資産	1,113,708	(3) その他経済事業負債	8,712
(1) 受取手形	697	4 設備借入金	87,842
(2) 経済事業未収金	934,949	5 雑負債	1,293,447
(3) 経済受託債権	33,238	6 諸引当金	150,659
(4) 棚卸資産	144,930	7 繰延税金負債	-
(5) その他経済事業資産	11,553	8 再評価に係る繰延税金負債	495,958
(6) 貸倒引当金	▲ 11,661	負債の部合計	126,127,401
4 雑資産	685,768	(純 資 産 の 部)	
5 固定資産	6,407,350	1 組合員資本	9,900,480
(1) 有形固定資産	6,404,713	(1) 出資金	2,429,022
(2) 無形固定資産	2,637	(2) 利益剰余金	7,471,458
6 外部出資	5,714,862	(3) 処分未処分持分	-
7 前払年金費用	99,274	2 評価・換算差額等	1,143,457
8 繰延税金資産	1,173	純資産の部合計	11,043,938
資産の部合計	137,171,339	負債及び純資産の部合計	137,171,339

■損益計算書

(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
1 事業総利益	1,487,213	(15) 指導事業収益	3,482
(1) 信用事業収益	576,058	(16) 指導事業費用	30,064
(2) 信用事業費用	14,679	指導事業収支差額	▲ 26,582
信用事業総利益	561,378	2 事業管理費	1,307,797
(3) 共済事業収益	436,190	(1) 人件費	919,093
(4) 共済事業費用	30,438	(2) 業務費	106,548
共済事業総利益	405,752	(3) 諸税負担金	64,072
(5) 購買事業収益	1,827,008	(4) 施設費	85,007
(6) 購買事業費用	1,605,392	(5) 減価償却費	131,453
購買事業総利益	221,616	(6) その他管理費用	1,622
(7) 販売事業収益	957,919	事業利益	179,416
(8) 販売事業費用	894,248	3 事業外収益	80,078
販売事業総利益	63,671	4 事業外費用	2,592
(9) 保管事業収益	14,546	経常利益	256,902
(10) 保管事業費用	9,496	5 特別利益	5,468
保管事業総利益	5,050	6 特別損失	5,000
(11) 加工事業収益	24,021	税引前当期純利益	257,370
(12) 加工事業費用	20,628	7 法人税、住民税及び事業税	75,908
加工事業総利益	3,392	8 法人税等調整額	11,961
(13) 利用事業収益	446,873	当期剰余金	169,500
(14) 利用事業費用	193,938	当期首繰越剰余金	410,230
利用事業総利益	252,934	土地再評価差額金取崩	-
		当期未処分剰余金	579,731



J A 広島北部

広島北部農業協同組合

〒731-0521 安芸高田市吉田町常友1210

TEL 0826-42-1111 (代)

ホームページ <http://www.ja-hh.or.jp>